

目次

| | | |
|--------|-------------------------------------|----|
| 1 | Scout コマンド インターフェース (scmd) の仕様 | 2 |
| 1.1 | FileInfo チャプター | 2 |
| 1.2 | Setup チャプター | 3 |
| 1.2.1 | シンクライアント データのクエリ (タイプ=12) | 3 |
| 1.2.2 | シンクライアントを追加する/変更する (タイプ=0) | 3 |
| 1.2.3 | シンクライアントを削除する (タイプ=1) | 5 |
| 1.2.4 | 所属グループ (OU) を追加する (タイプ=2) | 6 |
| 1.2.5 | 所属グループ (OU) を削除する (タイプ=3) | 7 |
| 1.2.6 | セットアップを追加する/変更する (タイプ=4) | 8 |
| 1.2.7 | セットアップを削除する (タイプ=5) | 15 |
| 1.2.8 | アプリケーションを追加する/変更する (タイプ=6) | 15 |
| 1.2.9 | アプリケーションを削除する (タイプ=7) | 17 |
| 1.2.10 | アプリケーションの既定の設定を追加する/変更する (タイプ=8) | 17 |
| 1.2.11 | 既定の設定を削除する (タイプ=9) | 23 |
| 1.2.12 | 詳細オプションを設定する (タイプ=10) | 23 |
| 1.2.13 | アプリケーションの名前を変更する (タイプ=11) | 24 |
| 1.3 | シンクライアントのリストの削除 | 25 |
| 1.4 | データのインポートおよびエクスポート | 25 |
| 1.4.1 | CSV のインポート | 25 |
| 1.4.2 | XML のインポート | 25 |
| 1.4.3 | XML のエクスポート | 26 |
| 1.5 | コマンドのスケジュール | 27 |
| 1.5.1 | メッセージを送信する | 27 |
| 1.6 | コンソール通信 | 27 |
| 1.6.1 | コンソールを閉じる | 27 |
| 1.6.2 | メッセージを送信する | 28 |
| 1.6.3 | コンソールインスタンスと Active Directory を同期する | 28 |
| 1.7 | バッチ モードの高速化 | 29 |

免責事項

このマニュアルの利用にあたり、お客様の行為はお客様自身が一切の責任を負うものとします。このマニュアルに含まれる情報により生じたいかなる障害または損害についても、UniCon Software GmbH と弊社およびそのパートナーはなんら責任を負わないものとします。

商標について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

1 Scout コマンド インターフェース (scmd) の仕様

scmd プログラムは、FUTRO 管理ツール(サーバー)のディレクトリにあります。

プログラムを起動するには、次のように入力してください:

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain] <filename1>
      <filename2> <filename3> <filename4>....または
```

scmd -v : プログラムのバージョンが表示されます。

<filename> にファイルが格納されているフォルダーのパスを含めない場合、scmd のあるパスをファイルの格納フォルダーとみなします。ファイル名にワイルドカードを含めることもできます。ファイル名は、入力した順に処理されます。ファイル名にワイルドカードが含まれている場合、ファイル名はアルファベット順に配置されます。

ファイル フォーマットは、Windows の ini ファイルのフォーマットに対応しています。

scmd プログラムは、動的に作成されるユーザー DSN によって Scout データベースに接続します。アクセスするデータは、FUTRO 管理ツール(サーバー)のデータベースのデータです。

次に、定義済みファイルが読み取られ、解釈されて、処理されます。チャプター [FileInfo] の内容に応じて、さまざまなアクションが実行されます。次では、各チャプターについて詳しく説明します。

1.1 FileInfo チャプター

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|---------------------------------|-------------|---|----|
| [FileInfo] | | | ○ |
| Type | #typenumber | 次の値を #typenumber として使用できます。 0 : シンクライアントを追加する/変更する 1 : シンクライアントを削除する 2 : 所属グループ (OU) を追加する/変更する 3 : OU を削除する 4 : セットアップを追加する/変更する 5 : セットアップを削除する 6 : アプリケーションを追加する/変更する 7 : アプリケーションを削除する 8 : アプリケーションの既定値を追加する/変更する 9 : アプリケーションの既定値を削除する 10 : 詳細オプションを設定する 11 : アプリケーションの名前を変更する | ○ |
| PreImportFile PostImportFile | <ファイル名> | インポートするセットアップ ファイルの名前です。 ファイル名を完全なパスで修飾しない場合は、FUTRO 管理ツールのディレクトリが使用されます。 このファイル名にワイルドカードを含めることはできません。 シンクライアントが作成されると、データがファイルから読み取られ、シンクライアントに割り当てられます。 データは次の順にインポートされます。 - PreImportFile のデータ - 現在のファイルのデータ - PostImportFile のデータ | |

ファイルのタイプに応じて、さまざまなチャプターが必要です。

ini ファイルの scmd の記述には、さらに 2 つのタイプが含まれています。

1.2 Setup チャプター

1.2.1 シンククライアント データのクエリ (タイプ=12)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------------|--------------|------------------------|----|
| [Setup] | | | ○ |
| AttributeKey | Mac_Address | データベース内の検索対象のキーです。 | ○ |
| AttributeValueString | 001122334455 | キーの内容と比較されるテキスト値文字列です。 | |
| AttributeValutInt | | キーの内容の比較対象になる数字の文字列です。 | |

1.2.2 シンククライアントを追加する/変更する (タイプ=0)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|-------------------------|--------------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUName | /OU1/OU2 | シンククライアントを追加する OU の完全修飾名です。 | ○ |
| ForceDBWrite | 0 1 | 変更が見つからなかった場合でも、読み込んだセットアップをデータベースに書き込むかどうかを指定します。 | |
| Name | Client1 | シンククライアントの名前 | ○ |
| MAC | 001122334455 | シンククライアントの MAC アドレス このアドレスは、シンククライアントがすでに Scout に入れているかどうかを調べるために使用します。入っている場合、既存の構成データは変更されます。 | ○ |
| Info1 | | このシンククライアントに関する情報 | |
| Info2 | | このシンククライアントに関する情報 | |
| Info3 | | このシンククライアントに関する情報 | |
| UseParentAppDefaults | | この OU に対して定義されたアプリケーションの既定値を使用するかどうかを指定します。 | |
| UseParentApps | | この OU で "親を使用する" かどうかを指定します。 | |
| UseParentScreenSettings | 0 1 | 親 OU の画面設定を使用するかどうかを指定します。 この値が 0 の場合は、Prop_Resolution と Prop_Frequency と Prop_ColorDepth を設定する必要があります。 | |
| Prop_Resolution | 1024x768 | 画面の解像度 (プロパティとして) | |
| Prop_Frequency | 60 | 画面の周波数 (プロパティとして) | |
| Prop_ColorDepth | 16 | 色数 (プロパティとして) ※ビット数で指定します。16ビット=65,536 色 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|---|--------------------------|---|----|
| IniEntryFile# IniEntrySection# IniEntryKey# IniEntryValue# | | ファイルの詳細項目の設定です。 4つの項目はすべて数字を使って設定する必要があります (# は 1 ~ 255) 項目を定義しない場合は、既存の項目が削除されます。 | |
| FileSrc# FileDst# | | 転送するファイルの設定です。両方の項目を設定する必要があります (# は 1 ~ 255) 項目を定義しない場合は、既存の項目が削除されます。 | |
| UseParent | 0 1 | この OU に対して個別の構成を設定するかどうかを指定します。 この値を 1 に設定した場合は、セクション 7 のセットアップ チャプターで定義されているすべての値を設定できます。 | |
| IpAddress | | シンクライアントの IP アドレス | |
| DefaultPrinter | | | |
| DefaultPrinterType | | | |
| DriverNames | | | |
| LastApplicationAction | 0 | シンクライアントで実行される最後のアプリケーションが閉じられた後で開始するアクションを指定します。 | |
| LastApplicationActionDelay | 0 | 前述のアクションを実行するまでの期間を指定します。 | |
| UseParentPeerIP | 0 1 | 親 OU のピア IP 設定を使用するかどうかを指定します。 | |
| UsePeerIP | 0 | シンクライアントの代替 (ピア) IP アドレスを使用するかどうかを指定します。 | |
| UseParentPartitions | 0 1 | 親 OU のパーティション設定を使用するかどうかを指定します。 | |
| RootPartitionSize | 128 | | |
| HomePartitionSize | 0 | | |
| SwapPartitionSize | 2 | | |
| WOLServer | | WakeOnLan サーバーを定義します。 | |
| UseParentMousKBSettings | 0 1 | 親 OU のマウスとキーボードの設定を使用するかどうかを指定します。 | |
| Prop_Emulate3Buttons | 空または Emulate3DButtons | 3 マウスボタンをエミュレートするかどうかを指定します。 | |
| Prop_multiClickTime | | ダブルクリックの速度 | |
| Prop_Buttons | | マウスの種類を指定します auto : 自動検出 none : マウスなし 2 : 2 ボタンのマウス 3 : 3 ボタンのマウス 5 : ホイール付マウス | |
| Prop_PointerSpeed | | マウス ポインターの速度 | |
| Prop_XkbLayout | | キーボードの言語を指定します | |
| Prop_Numlock | | NumLock の初期状態 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|--------------------|-----|---|----|
| Prop_DontVTSwitch | | Ctrl Alt F1...F12 でコンソール間の切り替えを有効にするかどうかを指定します。 | |
| Prop_DeadKeys | | 無効になっているキーを有効にするかどうかを指定します。 | |
| Prop_KeyboardDelay | | キーを押し続けたときの文字が繰り返し入力されるまでの時間 (Delay) を指定します。 | |
| Prop_KeyboardSpeed | | キーが押され続けたときの文字の入力が繰り返される間隔 (Speed) を指定します。 | |

Setup チャプターに存在しない値は無視されます。

例えば、値 "Info1" が存在しない場合、その値は変更または削除されません。この場合、"Info1" を削除するには、その値を空の値フィールド (Info=) で定義する必要があります。

プリンターの追加に制限はありません。各プリンターにはチャプター !PRINTER!# が必要です。

次の点に注意してください。

- プリンターのセクション (#) には、1 から始めて連続して番号を付ける必要があります。
- シンククライアントは常に、ここで定義されているプリンターに割り当てられます。
- プリンターのチャプターが存在しない場合、プリンターは入力されず、既存のプリンター (ある場合) は削除されます。

1.2.3 シンククライアントを削除する (タイプ=1)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------|--------------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| MAC | 001122334455 | このシンククライアントの MAC アドレス: この MAC アドレスのシンククライアントは Scout から削除されます。 | ○ |
| Name | Client1 | シンククライアントの名前: この名前のシンククライアントは Scout から削除されます。 | ○ |

Setup チャプターには、項目 **MAC** または **Name** を含めてください。

両方のチャプターが存在する場合は、MAC 項目が優先されます。

1.2.4 所属グループ (OU) を追加する (タイプ=2)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|---|----------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUName | /OU1/OU2 | OU の完全修飾名で、この OU に挿入します。 OU をルート ディレクトリに作成する場合は、"/" で FQOU を指定する必要があります。 | ○ |
| ForceDBWrite | 0 1 | 変更が見つからなかった場合でも、読み込んだセットアップをデータベースに書き込むかどうかを指定します。 | |
| Name | Client1 | 追加する OU の名前です。 | ○ |
| Info1 | | この OU に関する情報 | |
| Info2 | | この OU に関する情報 | |
| Info3 | | この OU に関する情報 | |
| UseParentAppDefaults | | この OU に対して定義されたアプリケーションの既定値を使用するかどうかを指定します。 | |
| UseParentApps | | この OU で親アプリケーションを使用するかどうかを指定します。 | |
| UseParentScreenSettings | | 親 OU の画面設定を使用するかどうかを指定します。 この値が 0 の場合は、Prop_Resolution と Prop_Frequency と Prop_ColorDepth を設定する必要があります。 | |
| Prop_Resolution | 1024x768 | 画面の解像度 (プロパティとして) | |
| Prop_Frequency | 60 | 画面の周波数 (プロパティとして) | |
| Prop_ColorDepth | 16 | 色数 (プロパティとして) ※ビット数で指定します。16 ビット = 65,536 色 | |
| IniEntryFile# IniEntrySection# IniEntryKey# IniEntryValue# | | ファイルの詳細項目の設定です。 4 つの項目はすべて数字を使って設定する必要があります (# は 1 ~ 255) 項目をまったく定義しない場合は、既存の項目が削除されます。 | |
| FileSrc# FileDst# | | 転送するファイルの設定です。両方の項目を設定する必要があります (# は 1 ~ 255) 項目をまったく定義しない場合は、既存の項目が削除されます。 | |
| DefaultPrinter | | | |
| DefaultPrinterType | | | |
| DriverNames | | | |
| LastApplicationAction | 0 | シンクライアントで実行される最後のアプリケーションが閉じられた後で開始するアクションを指定します。 | |
| LastApplicationActionDelay | 0 | 前述のアクションを実行するまでの期間を指定します。 | |
| UseParentPeerIP | 0 1 | 親 OU のピア IP 設定を使用するかどうかを指定します。 | |
| UsePeerIP | 0 | シンクライアントの代替 (ピア) IP アドレスを使用するかどうかを指定します。 | |
| UseParentPartitions | 0 1 | 親 OU のパーティション設定を使用するかどうかを指定します。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|-------------------------|------------------------------|---|----|
| RootPartitionSize | 128 | | |
| HomePartitionSize | 0 | | |
| SwapPartitionSize | 2 | | |
| WOLServer | | WakeOnLan サーバーを定義します。 | |
| UseParentMousKBSettings | 0 1 | 親 OU のマウスとキーボードの設定を使用するかどうかを指定します。 | |
| Prop_Emulate3Buttons | 空または Emulate3D Buttons | 3 マウス ボタンをエミュレートするかどうかを指定します。 | |
| Prop_multiClickTime | | ダブルクリックの速度 | |
| Prop_Buttons | | マウスの種類を指定します auto: 自動検出 none: マウスなし 2 : 2 ボタンのマウス 3 : 3 ボタンのマウス 5 : ホイール付マウス | |
| Prop_PointerSpeed | | マウス ポインターの速度 | |
| Prop_XkbLayout | | キーボードの言語を指定します | |
| Prop_Numlock | | NumLock の初期状態 | |
| Prop_DontVTSwitch | | Ctrl Alt F1...F12 でコンソール間の切り替えを有効にするかどうかを指定します。 | |
| Prop_DeadKeys | | 無効になっているキーを有効にするかどうかを指定します。 | |
| Prop_KeyboardDelay | | キーを押し続けたときの文字が繰り返し入力されるまでの時間(Delay)を指定します。 | |
| Prop_KeyboardSpeed | | キーが押され続けたときの文字の入力が繰り返される間隔(Speed)を指定します。 | |

1.2.5 所属グループ (OU) を削除する (タイプ=3)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------|----------|----------------------------|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUName | /OU1/OU2 | 削除する OU が含まれる OU の完全修飾名です。 | ○ |
| Name | OU3 | 削除する OU の名前です。 | ○ |

1.2.6 セットアップを追加する/変更する (タイプ=4)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------|--------------------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUName | /OU1/OU2 | セットアップ データーを追加または変更する OU の完全修飾名です。 この項目により、値 "Use parent" が削除され、この OU の個別のセットアップが作成されます。 次にレベルが高いセットアップ データーがコピーされ、その後このファイルの値が入力されます。 基本構成の値を変更するためには、"/" を入力してください。 | ○ |
| Network | | | |
| Timeout | #sec | タイムアウト (秒単位) です。この時間が経過すると、マネージャーへの接続試行がキャンセルされます。 | |
| DHCPTimeout | #sec | タイムアウトを秒単位で指定します。この時間が経過すると、DHCP クライアントは DHCP 要求をキャンセルします。 | |
| BootMode | DHCP BOOTP off | シンクライアントがネットワーク データーを DHCP または BOOTP 経由で取得するか、あるいは個別にデーターを入力するかを指定します。 | |
| IPAddr | 192.168.10.21 | シンクライアントの IP アドレス | |
| Netmask | 255.255.255.0 | シンクライアントのネットワーク マスク | |
| Hostname | myclient | シンクライアントのホスト名 | |
| Domain | mycompany.com | シンクライアントのドメイン名 | |
| Broadcast | | シンクライアントのプロードキャスト アドレス | |
| NBDomain | DOM01 | シンクライアントの NetBIOS ドメイン名 | |
| Dot1x | true false | シンクライアントで IEEE 802.1 認証プロトコルを使用するかどうかを指定します。 | |
| Dot1xTimeout | #sec | IEEE 802.1 認証プロトコルの使用に関するタイムアウトを秒単位で定義します。 | |
| UseLease | true false | DHCP 要求に失敗した場合に、シンクライアントで既存のリース ファイルを考慮に入れるかどうかを定義します。 | |
| DnsServer1 | 192.168.10.2 | 最初の DNS サーバーの IP アドレスです。 | |
| Gateway1 | 192.168.10.1 | 最初のゲートウェイの IP アドレスです。 | |
| HostAddr1 | 192.168.10.22 | ホスト テーブルが必要な場合、値ペアはここで定義されます。 | |
| HostName1 | myclient22 | | |
| Desktop | | | |
| LANG | de_DE | | |
| ShowTaskbar | true false | タスク バーを表示するかどうかを指定します。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|--------------------|---|---|----|
| TaskbarAlwaysOnTop | true false | タスクバーを常に一番手前に表示するかどうかを指定します。 | |
| TaskbarAutoHide | true false | タスクバーを自動的に隠すかどうかを指定します。 | |
| TaskbarShowClock | true false | タスクバーに時計を表示するかどうかを指定します。 | |
| AutostartStarter | true false | コントロールパネルを自動的に開くかどうかを指定します。 | |
| StarterDelay | #sec | コントロールパネルを開くまでの遅延時間を秒単位で指定します。 | |
| Workspace | # | 表示するワークスペースの数を指定します。 | |
| NextFocusKey | Down Tab | アクティブなアプリケーションを切り替えるためのショートキーを指定します。 Down: Ctrl + Alt + Down キーを使って、アプリケーションを切り替えます。 Tab: Alt + Tab キーを使って、アプリケーションを切り替えます。 | |
| DesktopBackColor | #FF00FF | シンクライアントのデスクトップの背景色を指定します。 フォーマットは RGB 値です。 #rrggbb : rr は赤の値を、gg は緑の値を、bb は青の値を表します。 | |
| Theme | greenCrux blueCrux Keramik SilverXP TrueCurve WinClassic XP | 使用するデスクトップ テーマを指定します。 | |
| BackgroundImage | background.jpg | 背景イメージのファイル名 | |
| TaskbarOption | 0x07 | タスクバーにクイック セットアップのアプレットを表示するかどうかを指定します。 No Applet : 0x0 MouseKeyboard : 0x1 Multimedia : 0x2 USB : 0x4 値は "or" で割り当てられます。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|-----------------------|----------------------|--|----|
| TimeZone | Berlin GMT+1 | タイムゾーンを指定します。 (全部で 252 項目が Scout コンソールの [Setup] > [Desktop] にあります) 例: Belfast GMT Berlin GMT+1 Dubai GMT+4 Dublin GMT London GMT Los_Angeles GMT-8 Vancouver GMT-8 Yekaterinburg GMT+6 Zurich GMT+1 | |
| TimeServer1 | | タイムサーバーの名前または IP アドレス | |
| TimeServerProtocol1 | RFC686 NTP | タイムサーバーのプロトコルを指定します Unix タイムサーバー: RFC686 Windows タイムサーバー: NTP | |
| Screen | | | |
| Resolution | 1024x768 | 画面の解像度 | |
| Frequency | 60 | 画面の周波数 | |
| ColorDepth | 16 | 画面の色数※ビット数で指定します。16 ビット=65,536 色 | |
| PrependUserPath | true false | 定義されたフォントパスをシステムパスより先に評価するかどうかを指定します。 | |
| FontPath%d | | フォントパス | |
| ScreenSaverOff | true false | 画面(スクリーンセーバー)の節電モードをオンにするかどうかを指定します。 | |
| StandbyTime | #min | 節電モードをオンにするまでの時間を分単位で指定します。 | |
| BackingStore | on off | シンククライアントのグラフィック表現の最適化。 | |
| UseScreenSaver | true false | スクリーンセーバーを使用するかどうかを指定します。 | |
| XAutoLockDelay | #min | スクリーンセーバーをアクティブにするまでの期間を分単位で指定します。 | |
| XAutoLockPwd | 空または \$ELUXPASSWORD | パスワード \$ELUXPASSWORD を入力すると、自動的に ADS 認証のパスワードを使用します。 そうでない場合は、このフィールドを空のままにしておく必要があります。 | |
| Rotate | 0 90 180 270 | 画面の内容の回転レベルを指定します。 | |
| NoDDC | true false | 画面情報を評価するかどうかを指定します。 | |
| Mouse/Keyboard | | | |
| XkbLayout | de | キーボードの言語を指定します | |
| LeftHandMouse | 空または LeftHandMouse | 左と右のマウスボタンを入れ替えるかどうかを指定します。 | |
| Emulate3Buttons | 空または Emulate3Buttons | 3 ボタンをエミュレートするかどうかを指定します。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|-----------------------|---------------------|---|----|
| multiClickTime | 500 | ダブルクリックの速度 | |
| Buttons | auto | マウスの種類を指定します auto : 自動検出 none : マウスなし 2 : 2 ボタンのマウス 3 : 3 ボタンのマウス 5 : ホイール付マウス | |
| Numlock | on off | NumLock の初期状態 | |
| DontVTSwitch | true false | Ctrl Alt F1...F12 でコンソール間の切り替えを有効にするかどうかを指定します。 | |
| DeadKeys | on off | 無効になっているキーを有効にするかどうかを指定します。 | |
| PointerSpeed | | マウス ポインターの速度 | |
| KeyboardDelay | | キーボードの遅延 | |
| KeyboardSpeed | | キーの反復速度 | |
| Firmware | | | |
| ftphost | | 更新用のサーバーの IP アドレスです。 | |
| ftphostname | | 更新用のサーバーの IP 名です。 | |
| ftppath | | 更新サーバーでのパス | |
| user | | サーバーで権限を付与されるユーザー | |
| password | | サーバーでの認証用のパスワード | |
| idf | myimage.idf | イメージ ファイルの名前 | |
| UseHttp | true false file | 更新を HTTP、FTP、または File 経由で処理するかどうかを指定します。 | |
| ProxyServer | | 更新用のプロキシ サーバーの IP アドレスです。 | |
| ProxyServerName | | 更新用のプロキシ サーバーの IP 名です。 | |
| ProxyServerPort | | プロキシ サーバーのポート | |
| AutoCheckUpdate | true false | シンクライアントの起動時に更新を確認するかどうかを指定します。 | |
| CheckUpdateOnShutdown | true false | シンクライアントのシャットダウン時に更新を確認するかどうかを指定します。 | |
| ConfirmUpdate | true false | シンクライアントのユーザーが更新を確認するかどうかを指定します。 | |
| Security | | | |
| LocalPassword | | パスワードは基本構成でのみ使用します。 | |
| AllowX11Clients | true false | 他のシンクライアントがこのシンクライアントのウィンドウを開くことを許可するかどうかを指定します。 | |
| Mirror | true false | ミラーリング サーバーを起動するかどうかを指定します。 | |
| MirrorViewOnly | true false | ミラーリング用のシンクライアントに表示のみの権限を付与するかどうかを指定します。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|-------------------------------|-----------------------|---|----|
| MirrorDialog | true false | シンクライアントでミラーリング セッションの開始を確認する必要があるかどうかを指定します。 | |
| MirrorDMCP | true false | XDMCP セッションもミラーリングするかどうかを指定します。 | |
| MirrorPassword | | ミラーリング プロセスのパスワードです。 | |
| AuthType | | 認証のタイプ | |
| AuthServer | | 認証サーバー | |
| AuthBase | | | |
| AuthVersion | | | |
| AuthDomain | | | |
| AuthPDC | | | |
| AuthBDC | | | |
| AuthBindDN | | | |
| AuthBindPW | | | |
| AuthDomainFieldStatus | 0 | シンクライアントでドメイン フィールドを表示する方法を指定します。 | |
| AuthShowLastUser | 0 | 最後にログインしたユーザーをシンクライアントで表示するかどうかを指定します。 | |
| UseServerProfile | true false | シンクライアントのデータサーバーをサーバーに保存するかどうかを指定します。 | |
| ServerProfilePath | | サーバー プロファイルを保存するパスです。 | |
| Check | none forever boot | SmartCard を確認するタイミングを指定します。 none : 確認なし boot : シンクライアントのブート時に SmartCard を確認します forever : SmartCard は常に使用可能である必要があります。 | |
| LockedFields | | シンクライアントのロックするフィールドのビット文字列です。 | |
| Multimedia | | | |
| MasterVolume | 49 | マスター音量 | |
| PCMVVolume | 24 | PCM 音量 | |
| XDMCPSound | true false | サウンドが XDMCP セッションで使用可能かどうかを指定します。 | |
| MicVolume | 80 | マイクの音量 | |
| MicMute | true | マイクのミュート | |
| Drives common settings | | | |
| Home | | ホーム ドライブ | |
| [!NETDRIVE!#] | | | |
| Directory | | データにアクセスできるディレクトリを指定します。 | |
| Server | servername | ネットワーク ドライブを共有するサーバーです。 | |
| User | | サーバーでの認証対象のユーザーです。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|--------------------------------|---|---|----|
| Password | | サーバーでの認証用のパスワードです。 | |
| Share | \\server\share | サーバーでの共有名 | |
| UseKerberos | true false | 認証を証明書によって実行する必要があるかどうかを指定します (セキュリティ設定で ADS を認証方式として定義する必要があります)。 | |
| Printer common settings | | | |
| LprTimeout | 10 | LPR 印刷をキャンセルするまでのタイムアウトです。 | |
| port_usb | 9101 | USB 印刷用のポート番号 | |
| port_lp | 9100 | LP 印刷用のポート番号 | |
| LpdService | true false | シンクライアントで LPD サービスを開始するかどうかを指定します。 | |
| [!PRINTER!#] | | #:1 から必要な数 | |
| Name | PR-Lexmark | | ○ |
| Type | net par ser usb | プリンターのタイプ: net : ネットワーク プリンター par : パラレル ポートのプリンター usb : USB ポートのプリンター ser : シリアル ポートのプリンター | ○ |
| Address | printer1.my.org | プリンターのネットワーク アドレス (タイプ=net の場合のみ必須) | |
| Queue | queue1 | プリンター キューの名前 (タイプ=net の場合のみ必須) | |
| TpClass | | ThinPrint クラスの名前 | |
| Default | true false | このプリンターを通常使うプリンターにするかどうかを指定します。 | |
| Com | 0 | 印刷に使用する COM ポートの番号です。 常に 0 に設定されます | |
| Baud | 0 1200 2400 4800 9600 19200 38400 | ボーレート: 0 に設定した場合は、ハードウェア設定の値が使用されます。 | |
| TextFilter | true false | テキスト フィルターを使用するかどうかを指定します。 | |
| PclFilter | true false | PCL フィルターを使用するかどうかを指定します。 | |
| Driver | | このプリンターのドライバー名かどうかを指定します。 | |
| Tp | true false | プリンターを ThinPrint プリンターとして定義するかどうかを指定します。 | |
| Hardware | | | |
| Device | none intern extern usb | Smart-Card デバイスのタイプを指定します。 | |
| ScreenLayout | 1-4 | 使用するモニターの数指定します。 | |

| | | | |
|-----------------------|--|--|--|
| RamdiskPercent | | シンククライアントの RAM ディスクのサイズを指定します (% 単位)。 | |
| USB | true false | USB 大容量記憶装置の使用を許可するかどうかを指定します。 | |
| USBUserInfo | true false | USB 大容量記憶装置がマウントまたはマウント解除されたときにユーザーに通知するかどうかを指定します。 | |
| Media | ethernet adsl isdn modem tokenring wavelan | シンククライアントが接続に使用するネットワークメディアを指定します。 | |
| Speed | auto 100HD 100FD 10 HD 10FD 1000 BNC AUI 4 16 100 auto 1200 2400 3600 4800 9600 14400 19200 28200 38400 57600 115200 | 設定が "ethernet" または "adsl" の場合のネットワーク速度 "tokenring" の場合のネットワーク速度 "modem" の場合のネットワーク速度 | |
| ESSID | | | |
| Channel | | | |
| WPAMode | | 設定が "wavelan" の場合のモード WEP : WEP WPA : WPA (PSK) WPA2 : WPA2 (PSK) WPA2-EAP : WPA2 (EAP) IEEE8021X : IEEE802.1X (LEAP) | |
| WPAIdentity | | | |
| NetworkName | | | |
| Mode | auto | トークンリング モード | |
| [Com#Settings] | | COM ポートの設定 # は 1 から 4 までの値にできます | |
| Speed | 9600 | 1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200 | |
| Parity | none | none、even、odd | |
| FlowControl | xonxoff | none、rtscts、xonxoff、both | |
| BitWidth | 8 | 5、6、7、8 | |
| StopBits | 1 | 1、2 | |
| Diagnosis | | | |
| LogLevel | 0-6 | | |
| DiagURL | ftp://ftpserver.de | | |

1.2.7 セットアップを削除する (タイプ=5)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|-----------|----------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUnName | /OU1/OU2 | セットアップ データーを削除する OU の完全修飾名です。 これにより、値 "Use parent" が設定され、既存のセットアップが削除されます。 基本構成のセットアップ データーは削除できません。 | ○ |

1.2.8 アプリケーションを追加する/変更する (タイプ=6)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------|--------------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUnName | /OU1/OU2 | アプリケーションを追加する OU の完全修飾名です。 最上位レベルのアプリケーション OU でアプリケーションを追加または変更するには、"/" を入力してください。 | ○ |
| Name | MyApp | アプリケーションの名前 | ○ |
| AutoStart | true false | アプリケーションを自動的に起動するかどうかを指定します。 | |
| AutostartDelay | #sec | アプリケーションを自動的に起動するまでの遅延時間を秒単位で指定します。 | |
| TM | true false | アプリケーションをターミナル モードで実行するかどうかを指定します。 | |
| Roaming | true false | カードリーダーを使用するときにローミングを有効にします。 | |
| AppOnDesktop | 0 1 | デスクトップ アイコンをシンクライアントで作成するかどうかを指定します。 | |
| Type | #type | アプリケーションのタイプです。#type には次が可能です。 0 : エミュレーション 3 : ブラウザー 4 : ICA 5 : ローカル シェル 7 : SAP GUI 10 : RDP 13 : PNAgent 15 : 仮想デスクトップ | ○ |
| ICAServer | | XenApp サーバーの名前 | |
| ICAUser | | ICA ユーザーの名前 | |
| ICAPass | | ICA ユーザーのパスワード | |
| ICADomain | | | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------------|--------------------------------------|--|----|
| ICAApplication | appl1 #pubappl1 | 実行するアプリケーションです。 公開されるアプリケーションの場合、入力するアプリケーション名は # で始まる必要があります。 | |
| ICAWorkDir | | アプリケーション用の作業ディレクトリです。 | |
| ICAResolutionDefault | 0 1 | 一般的なまたは既定の Citrix 設定を解像度に使用します。 | |
| ICAResolution | 0 1 2 3 4 5 6 7 8 | 0 : 640x480 1 : 800x600 2 : 1024x768 3 : 1280x1024 4 : 1600x1200 5 : ユーザー定義のサイズ: ICAWidth と ICAHeight を設定する必要があります。 6 : ユーザー定義のパーセンテージ ICAPercent を設定する必要があります 7 : 全画面 8 : シームレス | |
| ICAWidth | 1280 | ICA セッションの幅 | |
| ICAHeight | 1024 | ICA セッションの高さ | |
| ICAPercent | 75 | 画面の解像度 (パーセント単位) | |
| ICAColorsDefault | 0 1 | 一般的な Citrix 設定を色数に使用します。 | |
| ICAColors | 0 1 2 3 | 色数を指定します。 0: 16 色 1: 256 色 2: 16 ビット カラー 3: 24 ビット カラー | |
| ICAColorMapDefault | 0 1 | 256 色の場合は、一般的な Citrix 設定を色のマッピングに使用します。 | |
| ICAColorMap | 0 1 | 256 色の場合にカラー テーブルをマッピングする方法を指定します。 0 : 一般 (近似色) 1 : プライベート (細かい色) | |
| ICASound | | | |
| ICACrypt | 0 1 2 3 4 | 0 : 基本 1 : RC5 (128 ビット - ログインのみ) 2 : RC5 (40 ビット) 3 : RC5 (56 ビット) 4 : RC5 (128 ビット) | |
| ICAAutologin | true false | 暗号化レベルが上がると自動ログインになるかどうかを指定します。 | |
| ICACompress | 0 1 | 転送データを圧縮するかどうかを指定します。 | |
| ICABitmapCache | 0 1 | ビットマップ キャッシュを作成するかどうかを指定します。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|--------------------------|--------------|---|----|
| ZLMouseMode | 0 1 2 | レイテンシ削減の値を指定します。 0 : オフ 1 : オン 2 : 自動 | |
| ZLKeyboardMode | 0 1 2 | レイテンシ削減の値を指定します。 0 : オフ 1 : オン 2 : 自動 | |
| ICAServerLocationDefault | | 一般的な Citrix 設定をサーバー ロケーションに使用します。 | |
| BrowserProtocol | 0 1 | ICA クライアントがサーバーと公開アプリケーションの検索に使用するブラウザー プロトコルを指定します。 0 : HTTPonTCP 1 : UDP | |
| BrowserAddress1 | mybrowser1 | ブラウザーのアドレス | |
| BrowserAddress2 | mybrowser2 | | |
| BrowserAddress3 | mybrowser3 | | |
| BrowserAddress4 | mybrowser4 | | |
| BrowserAddress5 | mybrowser5 | | |
| DisableCtrlAltDel | true false | Citrix ログイン ウィンドウで PIN またはユーザー名/パスワードを要求するかどうかを指定します。 この値は、SmartCard 操作の場合に設定されます。 | |

1.2.9 アプリケーションを削除する (タイプ=7)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------|----------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUName | /OU1/OU2 | セットアップ データーを削除する OU の完全修飾名です。 これにより、値 "Use parent" が設定され、既存のセットアップが削除されます。 基本構成のセットアップ データーは削除できません。 | ○ |
| Name | MyApp | アプリケーションの名前 アスタリスク "*" を名前にすると、この OU のすべてのアプリケーションが削除されます | ○ |

1.2.10 アプリケーションの既定の設定を追加する/変更する (タイプ=8)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------|----------|----------------------|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUName | /OU1/OU2 | 標準を定義する OU の完全修飾名です。 | ○ |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------------|------------------|--|----|
| TransferDefaults | | これらの値をシンクライアントに転送するかどうかを指定します。 | |
| ClientNameTemplate | \$ICAUSER | これはシンクライアントの名前の設定に使用します。変数 \$ICAUSER、\$ICADOMAIN、および \$ICAAPPLICATION を使用できます。 | |
| BrowserProtocol | HTTPonTCP UDP | ブラウザのプロトコルを指定します。 | |
| SSLEnable | On Off | ブラウザのプロトコルを指定します (SSL/TLS + HTTPS) | |
| HttpBrowserAddress | | ブラウザのアドレス | |
| HttpBrowserAddress2 | | | |
| HttpBrowserAddress3 | | | |
| HttpBrowserAddress4 | | | |
| HttpBrowserAddress5 | | | |
| HttpBrowserAddress6 | | | |
| HttpBrowserAddress7 | | | |
| HttpBrowserAddress8 | | | |
| HttpBrowserAddress9 | | | |
| HttpBrowserAddress10 | | | |
| HttpBrowserAddress11 | | | |
| HttpBrowserAddress12 | | | |
| HttpBrowserAddress13 | | | |
| HttpBrowserAddress14 | | | |
| HttpBrowserAddress15 | | | |
| TcpBrowserAddress | | | |
| TcpBrowserAddress2 | | | |
| TcpBrowserAddress3 | | | |
| TcpBrowserAddress4 | | | |
| TcpBrowserAddress5 | | | |
| TcpBrowserAddress6 | | | |
| TcpBrowserAddress7 | | | |
| TcpBrowserAddress8 | | | |
| TcpBrowserAddress9 | | | |
| TcpBrowserAddress10 | | | |
| TcpBrowserAddress11 | | | |
| TcpBrowserAddress12 | | | |
| TcpBrowserAddress13 | | | |
| TcpBrowserAddress14 | | | |
| TcpBrowserAddress15 | | | |
| DisableSound | | Citrix クライアントでサウンドを再生するかどうかを指定します。 | |
| ClientManagement | On Off | シンクライアントの自動更新を許可するかどうかを指定します。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|-------------------|--------------|---|----|
| ClientDrive | On Off | シンクライアントのドライブの割り当てを許可するかどうかを指定します。 | |
| DrivePathA | /misc/floppy | 割り当てるパスの名前です。 | |
| DriveEnabledA | 0 1 | 0: ドライブを割り当てません 1: ドライブを割り当てます | |
| DriveReadAccessA | 0 1 2 | 0: 読み取りアクセスを許可 1: 読み取りアクセスを拒否 2: 読み取りアクセスを最初のセッションで確認 | |
| DriveWriteAccessA | 0 1 2 | 0: 書き込みアクセスを許可 1: 書き込みアクセスを拒否 2: 書き込みアクセスを最初のセッションで確認 | |
| DrivePathB | | | |
| DriveEnabledB | 0 1 | | |
| DriveReadAccessB | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessB | 0 1 2 | | |
| DrivePathC | /misc/cdrom | | |
| DriveEnabledC | 0 1 | | |
| DriveReadAccessC | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessC | 0 1 2 | | |
| DrivePathD | /misc/usb0 | | |
| DriveEnabledD | 0 1 | | |
| DriveReadAccessD | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessD | 0 1 2 | | |
| DrivePathE | | | |
| DriveEnabledE | 0 1 | | |
| DriveReadAccessE | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessE | 0 1 2 | | |
| DrivePathF | | | |
| DriveEnabledF | 0 1 | | |
| DriveReadAccessF | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessF | 0 1 2 | | |
| DrivePathG | | | |
| DriveEnabledG | 0 1 | | |
| DriveReadAccessG | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessG | 0 1 2 | | |
| DrivePathH | | | |
| DriveEnabledH | 0 1 | | |
| DriveReadAccessH | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessH | 0 1 2 | | |
| DrivePathI | | | |
| DriveEnabledI | 0 1 | | |
| DriveReadAccessI | 0 1 2 | | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|--------------------|-----------|----|----|
| DriveWriteAccessI | 0 1 2 | | |
| DrivePathJ | | | |
| DriveEnabledJ | 0 1 | | |
| DriveReadAccessJ | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessJ | 0 1 2 | | |
| DrivePathK | | | |
| DriveEnabledK | 0 1 | | |
| DriveReadAccessK | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessK | 0 1 2 | | |
| DrivePathL | | | |
| DriveEnabledL | 0 1 | | |
| DriveReadAccessL | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessL | 0 1 2 | | |
| DrivePathM | | | |
| DriveEnabledM | 0 1 | | |
| DriveReadAccessM | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessM | 0 1 2 | | |
| DrivePathN | | | |
| DriveEnabledN | 0 1 | | |
| DriveReadAccessN | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessN | 0 1 2 | | |
| DrivePathO | | | |
| DriveEnabledO | 0 1 | | |
| DriveReadAccessO | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessO | 0 1 2 | | |
| DrivePathP | | | |
| DriveEnabledP | 0 1 | | |
| DriveReadAccessP | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessP | 0 1 2 | | |
| DrivePathQ | | | |
| DriveEnabledQ | 0 1 | | |
| DriveReadAccessQ | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessAQ | 0 1 2 | | |
| DrivePathR | | | |
| DriveEnabledR | 0 1 | | |
| DriveReadAccessR | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessR | 0 1 2 | | |
| DrivePathS | | | |
| DriveEnabledS | 0 1 | | |
| DriveReadAccessS | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessS | 0 1 2 | | |
| DrivePathT | | | |
| DriveEnabledT | 0 1 | | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|---------------------------|--------------|----------------------------|----|
| DriveReadAccessT | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessT | 0 1 2 | | |
| DrivePathU | | | |
| DriveEnabledU | 0 1 | | |
| DriveReadAccessU | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessU | 0 1 2 | | |
| DrivePathV | | | |
| DriveEnabledV | 0 1 | | |
| DriveReadAccessV | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessV | 0 1 2 | | |
| DrivePathW | | | |
| DriveEnabledW | 0 1 | | |
| DriveReadAccessW | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessW | 0 1 2 | | |
| DrivePathX | | | |
| DriveEnabledX | 0 1 | | |
| DriveReadAccessX | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessX | 0 1 2 | | |
| DrivePathY | | | |
| DriveEnabledY | 0 1 | | |
| DriveReadAccessY | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessY | 0 1 2 | | |
| DrivePathZ | | | |
| DriveEnabledZ | 0 1 | | |
| DriveReadAccessZ | 0 1 2 | | |
| DriveWriteAccessZ | 0 1 2 | | |
| COM1 | /dev/ttyS0 | COM ポートへのシンクライアントの割り当て | |
| COM2 | | COM ポートへのシンクライアントの割り当て | |
| COM3 | | COM ポートへのシンクライアントの割り当て | |
| COM4 | | COM ポートへのシンクライアントの割り当て | |
| COM5 | | COM ポートへのシンクライアントの割り当て | |
| TransportReconnectEnabled | True False | 接続の解除後に接続を再試行するかどうかを指定します。 | |
| TransportReconnectRetries | #retries | 接続の再試行回数です。 | |
| TransportReconnectDelay | #delay | 次の接続再試行までの秒数です。 | |
| Hotkey1Char | | ホット キーの定義 | |
| Hotkey2Char | | | |
| Hotkey3Char | | | |
| Hotkey4Char | | | |
| Hotkey5Char | | | |
| Hotkey6Char | | | |
| Hotkey7Char | | | |
| Hotkey8Char | | | |
| Hotkey9Char | | | |
| Hotkey10Char | | | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|---------------------------|---------------------------------|---|----|
| Hotkey11Char | | | |
| Hotkey12Char | | | |
| Hotkey13Char | | | |
| Hotkey14Char | | | |
| Hotkey15Char | | | |
| Hotkey1Shift | | | |
| Hotkey2Shift | | | |
| Hotkey3Shift | | | |
| Hotkey4Shift | | | |
| Hotkey5Shift | | | |
| Hotkey6Shift | | | |
| Hotkey7Shift | | | |
| Hotkey8Shift | | | |
| Hotkey9Shift | | | |
| Hotkey10Shift | | | |
| Hotkey11Shift | | | |
| Hotkey12Shift | | | |
| Hotkey13Shift | | | |
| Hotkey14Shift | | | |
| Hotkey15Shift | | | |
| DesiredColor | 1 2 4 8 | 1 : 16 色 2 : 256 色 4 : 16 ビット カラー 8 : 24 ビット カラー | |
| DesiredHRES | | 水平解像度 | |
| DesiredVRES | | 垂直解像度 | |
| ScreenPercent | | 画面の解像度のパーセンテージ | |
| ApproximateColors | Yes No | 256 色の色割り当て Yes : 一般 (近似色) No : プライベート (細かい色) | |
| TransparentKeyPassthrough | Local FullScreenOnly Remote | ローカルのキーボード入力をサーバーに転送する方法を指定します。 Local: キーボード入力はローカル システム側の設定で使用されます。 FullScreenOnly: 全画面セッションではキーボード入力はサーバー側の設定でのみ使用されます。 Remote: キーボード入力はサーバー側の設定でのみ使用されます。 | |
| KeyPassthroughEscapeChar | Shift | サーバー側設定のみキーボードを使用するを終了するショートキーです。 | |
| KeyPassthroughEscapeShift | F1 | | |
| PersistentCachePath | /tmp | キャッシュ データを保存するパスです。 | |
| PersistentCacheSize | 0 | 最大キャッシュ サイズ (KB 単位) | |
| PersistentCachePercent | 20 | 最大キャッシュ サイズ (パーセント単位) | |
| PersistentCacheMinBitmap | 2048 | 保存する最小ビットマップ サイズ (バイト単位) です。 | |
| TcpGroupName1 | maingroup | プライマリ サーバー グループの名前を指定します。 | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|---------------------|-----------------------|---|----|
| TcpGroupName2 | secure1 | サーバー グループ セキュリティリスト 1 の名前を指定します。 | |
| TcpGroupName3 | secure2 | サーバー グループ セキュリティリスト 2 の名前かどうかを指定します。 | |
| UseAlternateAddress | 0 1 | ファイアウォール接続に代替アドレスを使用するかどうかを指定します。 | |
| ProxyHost | proxy:8080 | セキュリティ保護された接続のプロキシの名前とポート | |
| ProxyType | Socks Secure Wpad | Socks : SOCKS Secure : セキュリティ保護 (HTTPS) Wpad : 自動プロキシ検出 | |
| AllowAudioInput | False True | オーディオ入力デバイスを許可するかどうかを指定します。 | |

1.2.11 既定の設定を削除する (タイプ=9)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------|----------|--|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUnName | /OU1/OU2 | セットアップ データを削除する OU の完全修飾名です。 これにより、値 "Use parent" が設定され、既存のセットアップが削除されます。 | ○ |

1.2.12 詳細オプションを設定する (タイプ=10)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|------------------------|-----|--------------------------------|----|
| [Setup] | | | ○ |
| DiscoverPingTime | 10 | シンクライアントを検出するまでの ping を実行する時間。 | |
| DiscoverCollectTime | 30 | | |
| UpdateMaxAtOnce | 10 | | |
| UpdateConnectTimeout | 2 | | |
| ManageOnlyLockedFields | 0 | | |
| DoSmartSrv | 0 | | |
| SmartSrvTimeout | 30 | | |
| ScoutSrvGroup | 0 | | |
| RenameExistingDevice | 1 | | |
| AllowDynamicHostnames | 0 | | |
| DeactivateNewDevices | 0 | | |
| WOLWithUDP | 0 | | |
| WOLWithIpAddress | 0 | | |
| DebugLevel | 1 | | |
| AllowDynamicGroupID | 1 | | |
| CheckNetCrossing | 0 | | |
| DiscoverOnStart | 0 | | |

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------------------|-----|----|----|
| PrinterImportTime | 0 | | |
| UseClassicLogin | 1 | | |
| Password | | | |
| RecoverURL | | | |
| WolServer | | | |
| LastApplicationAction | 0 | | |
| LastApplicationActionDelay | 0 | | |
| UsePeerIP | 0 | | |
| FirstContactAction | 0 | | |
| RootPartitionSize | 128 | | |
| HomePartitionSize | 0 | | |
| SwapPartitionSize | 2 | | |
| ReceiveTimeout | 5 | | |
| UpdateResponseTimeout | 10 | | |
| RecoverUsePartitionData | 0 | | |
| RecoverAskUser | 1 | | |
| RecoverProxy | | | |
| RecoverPort | 0 | | |

1.2.13 アプリケーションの名前を変更する (タイプ=11)

| チャプター/項目 | 値/例 | 説明 | 必須 |
|----------------|----------|----------------------------|----|
| [Setup] | | | ○ |
| FQOUnName | /OU1/OU2 | アプリケーションが含まれる OU の完全修飾名です。 | ○ |
| Name | | アプリケーションの名前 | ○ |
| NewName | | アプリケーションの新しい名前 | ○ |

1.3 シンクライアントのリストの削除

`scmd` プログラムを使用して、シンクライアントのリストを削除できます。このリストはテキスト ファイルとして存在し、ファイルのすべての行にシンクライアントが 1 つずつあります。許可されている文字は、シンクライアント名（必要に応じて OU の名前を伴う）または MAC アドレスです。

例:

```
Devicename1
Earth/Europe/Germany/Karlsruhe/UniCon/Devicename2
00018077C413
```

通常のコマンド構文とは異なり、シンクライアントのリストの削除は、次の呼び出しによって実行されます。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain] -
deletedevices File
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。**File** は、削除するシンクライアントのリストが記載されたファイル名です。

1.4 データのインポートおよびエクスポート

データのインポートおよびエクスポートには、選択可能な 2 つの形式があります。

- CSV ファイル（シンクライアント リストのインポート専用）
- XML ファイル

1.4.1 CSV のインポート

`scmd` プログラムは、CSV 形式のシンクライアント リストをインポートできます。

インポート用の CSV ファイルは、MAC アドレス、名前、所属グループの 3 つの列で構成されています。

CSV ファイルの例:

| MACaddress | name | Organisation unit |
|--------------|----------|-------------------|
| 00199985F675 | S450-1 | NameOfOrgUnit |
| 00E0C5422A2E | nexeed-i | NameOfOrgUnit |

Scout での CSV ファイルのインポート:

```
[File] > [Import] > [Devices]
```

通常のコマンド構文とは異なり、インポートの呼び出しは次のようになります。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain] -import CSV-
File
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。**CSV-File** は、インポートするシンクライアント リストのファイル名です。

1.4.2 XML のインポート

`scmd` プログラムは、所属グループ (OU) およびシンクライアントの構成とプロパティ、アプリケーションとアプリケーション リストを XML 形式でインポートできます。

通常のコマンド構文とは異なり、OU またはシンクライアントのインポートは、次の構文によって実行されます。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain] -import
(-ou | -device) [-setup] [-ignorefilter] [-dontcreate]
[-saveinheritance] [-changeindependentsetups]
([-FQName FQName] | [-destlist File]) File
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。

-ou を入力することで所属グループのデータがインポートされ、**-device** を入力することでシンクライアントのデータがインポートされます。

-setup を入力すると構成がインポートされ、そうでない場合はプロパティがインポートされます。

-ignorefilter を入力すると、ファイルに含まれるインポート フィルターが無視されます。

指定された所属グループまたは指定されたシンクライアントが存在する場合は、**-dontcreate** を入力するとデータだけがインポートされます。

指定された所属グループまたは指定されたシンクライアントの構成にアクティブなオプション "Use parent" がない場合は、**-saveinheritance** を入力するとデータだけがインポートされます。このオプションが影響を及ぼすのは構成のインポートだけです。

-changeindependentsetups を入力すると、構成内のすべての変更が下位の独立した構成にも適用されます。このオプションが影響を及ぼすのは構成のインポートだけです。

FQName を入力すると、OU またはシンクライアントの完全修飾名が使用されます (例: Karlsruhe/UniCon/OU1)。この項目が存在せず、オプション **-destlist** も存在しない場合は、ファイルに含まれる名前が使用されます。

基本構成と詳細オプションの場合は、FQName "/" が使用されます。

-destlist を入力するときは、対応するテキスト ファイルの各行に完全修飾の OU 名またはシンクライアント名を含める必要があります。そうすれば、各 OU または各シンクライアントのデータがインポートされます。シンクライアントの構成をインポートする場合、オプション **-dontcreate** は暗黙的に設定されます。

アプリケーションまたはアプリケーション リストのインポートは、次の構文で実行されます。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain] -import
      (-app|-apps) -FQName FQName File
```

-app を入力するとアプリケーションがインポートされ、**-apps** を入力するとアプリケーション リストがインポートされます。

FQName を指定した場合は、対応する OU の完全修飾名が使用されます。

グローバル アプリケーションの場合は、FQName "/" が使用されます。

1.4.3 XML のエクスポート

scmd プログラムは、所属グループ (OU) およびシンクライアントの構成とプロパティ、アプリケーションとアプリケーション リストを XML 形式でエクスポートできます。

通常のコマンド構文とは異なり、OU またはシンクライアントのエクスポートは、次の構文によって実行されます:

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain] -export
      (-ou|-device) [-setup] -FQName FQName File
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。

-ou を入力することで OU のデータがエクスポートされ、**-device** を入力することでシンクライアントのデータがエクスポートされます。

-setup が入力された場合は構成がエクスポートされ、そうでない場合はプロパティがエクスポートされます。

FQName は、OU またはシンクライアントの完全修飾名です。

基本構成と詳細オプションの場合は、FQName "/" が使用されます。

アプリケーションまたはアプリケーション リストのエクスポートは、次の呼び出しで実行されます:

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain] -export
      (-app|-apps) -FQName FQName File
```

-app を入力するとアプリケーションがエクスポートされ、**-apps** を入力するとアプリケーション リストがエクスポートされます。

FQName には、OU のアプリケーションの完全修飾名を入力します。

グローバル アプリケーションの場合は、FQName "/" が使用されます。

1.5 コマンドのスケジュール

scmd プログラムでは、コマンドのスケジュールを設定できます。

1.5.1 メッセージを送信する

scmd プログラムでは、選択したシンクライアントまたは選択した所属グループのシンクライアントにメッセージを送信できます。

通常のコマンド構文とは異なり、メッセージの送信は、次の呼び出しによって実行されます。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain]
      -sendmsg -msg Message -to FQName [-subous] [-visible Seconds]
      SchedulerSettings
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。

パラメーター **msg** はメッセージ テキストを指定し、パラメーター **to** は、メッセージを受信する所属グループまたはシンクライアントの完全修飾名を定義します。

subous が指定され、送信先が所属グループである場合、メッセージは下位のすべての所属グループにも送信されます。

visible が指定されている場合、メッセージは定義した期間が経過すると自動的に非表示になります。

SchedulerSettings として次の呼び出しパラメーターを適用できます。

-now

または **-once -at Date Time**

または **-every {-day Day {Day}}-sun|-mon|-tue|-wed|-thu|-fri|-sat} -at Time**

now を指定すると、メッセージはすぐに送信されます。

once を指定すると、メッセージは指定した日時に送信されます。日付の形式は **dd.mm.yy[yy]** または **mm-dd-yy[yy]** で、時刻の形式は **hh:mm** です。

every を指定すると、メッセージは指定した日時に繰り返し送信されます。

例:

```
scmd -sendmsg -msg "Hello" -to /TestOU -every -mon -day 1 15 -at 9:00
```

この場合、"Hello" というメッセージが毎週月曜日と毎月 1 日および 15 日に、所属グループ TestOU のすべてのシンクライアントに送信されます。

1.6 コンソール通信

scmd プログラムでは、メッセージとコマンドをコンソールインスタンスに送信できます。

1.6.1 コンソールを閉じる

scmd プログラムでは、コマンドを送信して、選択したコンソールインスタンスを閉じることができます。

通常のコマンド構文とは異なり、このコマンドの送信は、次の呼び出しによって実行されます。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain]
      -icc-closeconsole [-timeout Seconds] [-displaytime Seconds] [-
      cancel] (-toall | -to Domain\User {Domain\User})
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。

displaytime を指定した場合は、受信コンソールを閉じたことがウィンドウで表示されます。指定した期間が 0 より長い場合、ウィンドウは指定した期間の経過後に自動的に閉じられます。

cancel を指定した場合は、受信コンソールのユーザーはコンソールが閉じないようにできます。

timeout を指定した場合は、コンソールを閉じることが指定した期間が経過するまで保留されます。このパラメーターがないと、コンソールはすぐに閉じられます。

toall を指定した場合は、すべてのアクティブなコンソールが閉じられます。そうでない場合は、コンソールのリストを **Domain\User** の形式で定義し、キーワード **to** を使って入力する必要があります。

1.6.2 メッセージを送信する

scmd プログラムでは、選択したコンソールインスタンスにメッセージを送信できます。

通常のコマンド構文とは異なり、このコマンドの送信は、次の呼び出しによって実行されます。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain]
      -icc-sendmsg [-validfrom Date Time] [-validto Date Time]
      [-displaytime Seconds] [-cancancel] -msg Message
      (-toall | -to Domain\\User {Domain\\User})
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。

validfrom および **validto** の両方または一方を指定した場合は、コマンドの有効期間を設定できます。日付は **dd.mm.yy[yy]** または **mm-dd-yy[yy]** の形式にし、時刻の形式は **hh:mm:ss** にする必要があります。

displaytime を指定した場合、メッセージ テキストを表示するウィンドウは指定した時間の経過後に閉じられます。

cancancel を指定した場合、受信コンソールのユーザーは、メッセージの受信を確認せずにメッセージを閉じることができます。

キーワード **msg** の後に、表示するメッセージ テキストが続きます。複数行のメッセージを作成するには、文字列 "\n" を挿入します。

toall を指定した場合、メッセージはすべてのアクティブなコンソールに送信されます。そうでない場合は、コンソールのリストを **Domain\User** の形式で定義し、キーワード **to** を使って入力する必要があります。

1.6.3 コンソールインスタンスと Active Directory を同期する

scmd プログラムでは、データベースに存在するすべてのコンソールインスタンスと Active Directory を同期できます。

通常のコマンド構文とは異なり、同期は次の呼び出しによって実行されます。

```
scmd -u[ser] Username -p[assword] Password [-d[omain] Domain]
      -icc-checkadusers (-deactivate | -delete)
```

Username、**Password**、および **Domain** は、サーバーへのログオンに必要です。

deactivate を指定した場合は、Active Directory で見つからないすべてのコンソールインスタンスが非アクティブになります。

delete を指定した場合は、Active Directory で見つからないすべてのコンソールインスタンスがデータベースから削除されます。

1.7 バッチ モードの高速化

一連の `scmd` コマンドをバッチ ファイルで実行する場合は、特別なモードで `scmd` プログラムを起動することで高速化できます。

次の呼び出しによって実行できます。

```
scmd -startbatch
```

このコマンドにより、プログラムのインスタンスがバックグラウンドで起動します。次に、後続の `scmd` 呼び出しはこのインスタンスに転送され、このインスタンスによって処理されます。データベースへの接続の確立など、初期のフェーズは 1 回だけ実行すれば良いので、処理が高速化されます。

バックグラウンド インスタンスを閉じるには、次のように入力してください。

```
scmd -stopbatch
```

例:

```
scmd -startbatch
scmd -u user -p pw -d domain -sendmsg -msg Text1 -to OU1 -once -at 12.12.2012 12:34
scmd -u user -p pw -d domain -sendmsg -msg Text2 -to OU2 -once -at 13.12.2012 12:34
scmd -u user -p pw -d domain -sendmsg -msg Text3 -to OU3 -once -at 14.12.2012 12:34
scmd -stopbatch
```

指定するユーザーはパスワードやドメインを含めてすべての呼び出しで同じである必要があることに注意してください。そうでない場合、処理は実行されません。

さらに、バックグラウンドで実行できるプログラムは一度に 1 つだけです。つまり、複数のバッチ ファイルの並行処理はできません。

FUTRO A300

**FUTRO 管理ツール コマンドラインインターフェース説明書
B6FJ-9591-01 Z0-00**

発行日 2012 年 10 月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。